三芳町における食育の現状と推進について

誰もが健康で郷土愛を育めるまちづくりを！

三芳みらい
井田 和宏

問 町の食育に対する考え方はどのようなものか。

答 町長　三芳町らしい食育を進めていきたい。また給食センターの建て替えを契機に各課、各機関と連携して町民運動として進めていきたい。

問 子どもたちに対する食育はどのように考えているのか。

答 教育長　食育は子どもたちの心身の成長及び人格形成に大きな影響を及ぼすものと考えている。教育振興基本計画、食育推進計画等に基づき推進していきたい。

問 「町農産物に関する情報、供給、消費拡大」についての事業を更に増やすべきと考えるが、どうか。

答 観光産業課長　新鮮で高品質な三芳野菜を積極的に取り入れることは地域の活性化にもつながる。今後は保健センターと協力して事業に取り組んでいきたい。

問 小中学校で行われている「緑の学校ファーム」の成果をどのように捉えているのか。

答 学校教育課長　色々な方の協力を得て事業を行っている。成果としては達成感や勤労観、思いやりの心やふるさとを愛する心が芽生えたことが挙げられる。

上富小学校学校園の様子

問 新給食センターでは食育についてどのような配慮がなされるのか。

答 教育総務課長　調理の現場の見学、試食、研修等地域拠点施設との併設のメリットが出せるようにしていきたい。

問 今後更にPRしていくべきと考えるが、どのように考えているのか。

答 保健センター所長　10月に「食に関する意識調査」を実施し、町の風土にふさわしい第二次食育推進計画を策定したい。

環境美化とリサイクルで環境保全推進を

環境保全条例の制定でゴミ減量化に取組を

三芳みらい
秋坂 豊

問 毎年実施しているごみゼロ運動の成果は。

答 環境課長　今年度の実績では、参加者4500人・ごみ量20t。

問 各地域のごみゼロ運動参加者構成はどうか。

答 環境課長　地域によって異なるが、役員だけの30人程度から、地区住民も含めて900人ほどの地区もある。

問 ごみの多い地区は。

答 環境課長　地域によっては、側溝の清掃も行っている。また山林や道路沿いへのポイ捨ても多くある。

問 環境教育や環境学習について実施すべきでは。

答 環境課長　小学生がリサイクルセンターを見学し、環境教育を行っている。

問 環境保全功労者へ表彰を考えてはどうか。

答 環境課長　近年では該当者が無かったように思うが今後検討してみたい。

問 リサイクル活動の強化策は。

答 環境課長　分別の収集に力を注いでいる。

問 ここ数年ごみ減量化が進んでいるようだが、経費の減少が無いのは何故か。

答 環境課長　処理施設の改修費用が多くある。

福祉行政について

問 老人福祉センターの老朽化が考えられるが。

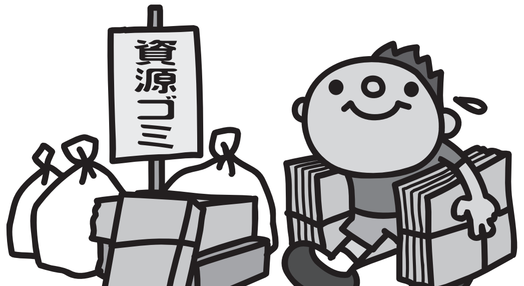
答 福祉課長　修繕をしながら利用している。

問 先日センターで事故が発生したが治療費等は。

答 福祉課長　社会福祉協議会が加入している保険により進めている。

問 休止していた福祉センター再開の議会報告が遅い。

答 福祉課長　再開決定が週末であったため、ホームページには掲載できたが、議会への報告が遅れた。今後十分注意していきたい。



要望

不採択

農業センター駐車場の増設を求める要望書

●要望趣旨

・農業センターと旧島田家住宅と駐車場が併用となっているため、自動車の置き場に大変苦慮している。

・地域住民の活動の拠点として、公共の福祉の向上のため、登下校時の安全確保のため、駐車場増設の計画案を推進してほしい。

●審査経過

本要望は、厚生文教常任委員会に付託、次のとおり審査された。

町村議会の運営に関する基準では、議案に関連する請願については、その議案が可決又は否決されたときは「みなし採択（不採択）」とある。補正予算で審議された上富地域拠点施設用地取得事業は、議会では否決されたことから、この要望書は採決の結果「みなし不採択」とすることとした。

また、委員会において少数意見の留保の申し出があり成立した。

●審議結果

本議会では、厚生文教常任委員長より報告があり、また少数意見留保者より報告があった。その後委員長と少数意見の留保者に対し質疑応答があり、賛成少数により、採決の結果、本要望は「不採択」と決定した。

●主な質疑

問 みなし不採択となった経緯としては、町村議会の運営に関する基準を準用した形であるが、なぜ議会基本条例の規定に基づいての審議がされなかったのか。

答 町村議会の運営に関する基準、三芳町の議会先例及び運営基準により、みなし不採択としたものである。

問 先例が大事なのか議会基本条例が一番優先されるべきなのか、どちらなのか議論があってよかったのではないか。

答 今回は、市町村の運営に関する基準、それに沿っていくことが妥当だと判断した。

平成23年度　政務調査費収支報告

議席番号・氏名	交付額	支出額	差引残額
1. 菊地　浩二	60,000円	62,080円	0円
2. 久保　健二	55,000円	55,000円	0円
3. 細田　家永	55,000円	51,162円	3,838円
5. 抜井　尚男	55,000円	63,880円	0円
6. 井田　和宏	55,000円	57,940円	0円
7. 石田　豊旗	55,000円	52,937円	2,063円
8. 増田　磨美	55,000円	52,588円	2,412円
9. 吉村　美津子	60,000円	61,048円	0円
10. 小松　伸介	55,000円	54,106円	894円
11. 岩城　桂子	60,000円	68,247円	0円

議席番号・氏名	交付額	支出額	差引残額
12. 内藤　美佐子	60,000円	67,087円	0円
13. 山口　正史	60,000円	59,249円	751円
14. 山田　政弘	60,000円	60,002円	0円
15. 秋坂　豊	60,000円	60,000円	0円
16. 杉本　しげ	60,000円	58,068円	1,932円

※交付額55,000円については、平成23年5月改選によるもの
※三芳町ウェブサイトにて政務調査費収支報告書の詳細を公開しております。
領収書等の証拠書類を添えた収支報告書を掲載していますので、下記URLにアクセスして「◆平成23年度分政務調査費の収支報告書を掲載しました」をご覧ください。
(http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/)

総務常任委員会

本委員会では6月の定例会で付託され「三芳町コンプライアンス条例」の審議を実施

経過

担当課から3回に渡って本条例の内容の説明を逐条で受け、同時に質疑を行った。さらに担当課からの訂正説明があり、質疑を実施した。その後に委員間での審議を3回行っている。

委員の本条例に対する意見では、①担当課からの3回の説明でも条文に理解がしにくい面がある。②定義や規定されている手続きに曖昧な点がある。等の指摘があり、当町の行政にとっても重要な条例でもあることから、さらに条例の精査を行った上で、結論は慎重に出すべきとなった。

その結果、9月定例会では本条例は「継続審査」とし、今後も内容を詳細に検討し、出来るだけ早い段階で結論を出す予定である。

厚生文教常任委員会が学校視察研修

厚生文教常任委員7名及び議長は、7月13日、町内2校の藤久保中学校・三芳東中学校を訪問して数学等の授業参観をしました。

～ 視察研修結果 ～

- どの生徒も授業を真剣に受けている姿を見学することができた。
- 少人数学級の取り組みを急ぐべきである。
- 施設の修繕の必要性がある。
- 生徒と一緒の昼食で、楽しく、おいしく食べましたが、給食時間がもう少し長くほしい。

大変勉強になる視察研修となりました。

意見書

意見書第11号

自治体における防災減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書

地方自治体において、災害時に住民を守る社会資本の多くが改築期を迎えるにも関わらず、財政の悪化から、計画的修繕や改築が進まない状況にある。

社会資本の経年劣化対策等の防災・減災のための事業に重点的な予算配分を行い、地方負担額の軽減措置を講じるよう求めるため提案する。

提出先　内閣総理大臣　総務大臣　国土交通大臣　農林水産大臣　文部科学大臣

意見書第12号

「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書

近年「脱法ハーブ」が出回り、それを吸引した者が救急搬送されたり、交通事故を起こす事例が発生しているが、法規制が追いつかない状況だ。

これを放置することは覚せい剤や麻薬等の入り口となることが懸念され、特に青少年の薬物乱用を防ぐためにも早急な規制強化を求める。

提出先　内閣総理大臣　厚生労働大臣　文部科学大臣

意見書第13号

国にアスベスト被害者の救済と対策を求める意見書

アスベスト被害は国の政策によって、建設資材として建設現場で使用したことで、建設就業者に最大の被害者が生まれている。被害者に対する救済は極めて不十分であり、建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施と、アスベスト被害の拡大を根絶する対策を求める。

提出先　内閣総理大臣　財務大臣　環境大臣　衆議院議長　参議院議長

9月定例議会を傍聴された方からご意見・ご感想をいただきました。

傍聴席からのご意見

限られた収入の中で住民の希望に沿う様運営して行くのは大変な事と思いました。

他市の様に県より助成金を受けるのと我町の様に自力でやって行くのとでは、どちらが良いものか…。助成金を受けてもっと楽に大きなことが出来ないものか…。

（藤久保　Tさん）

久しぶりに参加しました。議員さんは良く勉強していると思いました。

同じ質問を何回もしていたように思いますが、答弁がよくわかりませんでした。

（無記名）

一般質問の時間＝60分について多少の増減は認められないのかな、と思う。

質問の説明が長くなったり、答弁が長くなったりして、質問したい事柄が質問できないというのは残念ではなかろうか。（例えば60分±10分など）

（藤久保　Fさん）

道路行政等の質問、答弁等で、幹線、県道の号線がどの辺なのか傍聴している人はわからないので、モニターの様な物があると良いですね。

（無記名）

役場の役職の方々は住民の苦しさを充分わかっているのでしょうか。

生ゴミの堆肥化、住民に必要性を問うてみてはどうでしょう。

（無記名）

初めての傍聴でしたが、三芳町がより良い町になり、住民が安心して過ごせる町になればいいなと思います。

子供を育てるうえで、もっと安心して子育てができればと思います。

（上富　Oさん）

駐車場の不足はわかるが、大型バスは問題外

色々と話が出ていましたが、大型バスも止められる（普通車はもちろん）駐車場を確保すべきではないか。近隣の人も普通車でも夜うるさいので、止めないでほしいと言う方もいました。

（上富　Yさん）

※他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

次回もぜひ、ご参加ください。

【傍聴者数内訳】

	日程	人数
本会議	9月 4日	6名
	9月 6日	19名
	9月 7日	29名（うち夜間議会28名）
	9月10日	17名
	9月24日	4名
委員会	9月13日（決算）	1名
	9月14日（決算）	3名
	9月18日（決算）	1名
	9月24日（厚生）	1名
合計		計 81名

夜間議会

9月7日（金）午後6時～9時30分
夜間議会を開催しました

夜間議会に関するご感想

- ●こういうのをやってもらうとありがたい。仕事をしている人は、昼間は傍聴できないから
- ●今回夜間議会は、はじめて出席させていただきました。町の行政をよく知ることができました。また、出席したいと思います。
- ●今後も実施してほしい。
- ●とても良いと思います。
- ●平日では仕事の関係もあり、傍聴できない分、夜間議会を増やしてほしい。
- ●年に2・3回位は開いてはどうかと思います。

※他にもご感想をいただきましたが、一部を紹介しました。

議会活動日誌

8月

1日　総務常任委員会
6日　議会改革推進特別委員会
17日　議会改革推進特別委員会
20日　全員協議会
23日　総務常任委員会
28日　議会運営委員会

9月

3日　議会運営委員会
4日～24日　第５回定例会
4日　総務常任委員会
10日　総務常任委員会
　　　厚生文教常任委員会
11日　全員協議会
13日　決算特別委員会
14日　決算特別委員会
18日　決算特別委員会
　　　議会運営委員会
20日　議会改革推進特別委員会
21日　入間東部地区衛生組合　議会運営委員会
24日　厚生文教常任委員会
　　　議会運営委員会
25日　入間東部地区消防組合　議会運営委員会
26日　総務常任委員会
27日　入間東部地区衛生組合　第2回定例会
28日　厚生文教常任委員会

10月

1日　議会だより編集委員会
2日　入間東部地区消防組合　第2回定例会
4日　議会改革推進特別委員会
5日　厚生文教常任委員会
10日　総務常任委員会
12日　議会だより編集委員会
　　　埼玉県町村議会議員研修会
15日　議会運営委員会
19日　厚生文教常任委員会
24日　議会だより編集委員会
25日　議会改革推進特別委員会
29日～30日　全国町村議会主催第77回
　　　　　　町村議会広報研修会
30日　全員協議会
　　　議会運営委員会

次の議会定例会は

12 月 3 日

開催予定です

皆様の傍聴を
お待ちしております

編集後記

「天高く馬肥ゆる秋」、朝夕寒くなりましたが、何をするにも気持ちの良い気候となりました。コスモスの花咲く秋は、私の好きな季節でもあります。

　さて、東日本大震災での放射能漏れ事故によって、いまだ故郷に帰れない人々のニュースは続き、一日も早い誰もが納得のいく政府の支援が待たれるところです。

　また、環境課に設置された食品放射性物質検査器で魚とお米を測定したところ、両方とも検出されずでした。町民の多くの人に利用されればと思います。

　三芳町議会は、9月4日から24日まで開かれ、最終日の24日は、今月号の内容のごとく白熱した審議が夜中の23時31分まで続きました。

　12月議会も傍聴をよろしくお願いいたします。

議会だより編集委員会
委員長　吉村

委員長　吉村　美津子
副委員長　久保　健二
委員　菊地　浩二
委員　石田　豊旗
委員　小松　伸介
議長　山田　政弘